

「折り紙研修」

2019年8月23日（金）JGA 第一支部研修報告

8月23日（金）にお茶の水おりがみ会館にて「折り紙研修」が実施されました。参加者は計21名（会員15名、非会員3名、委員3名）で当日は、小雨の中遠く福岡や宮城から参加された方もいらっしゃいました。

前半はおりがみ会館館長で国際おりがみ協会理事長の小林一夫様から折り紙作成のお話を聞きました。作成をしながら軽妙洒落な話をし、聞き入っているうちに作品が出来上がっている、という具合で、瞬間に時間が過ぎていきました。また、ご自分の経験も随所に入れ、日本だけでなく海外でも活躍されていると感じました。箸袋やナプキンで作品を作ることも紹介され身近なものでも作れることも教えていただきました。その後、参加者が折り紙の作成をしましたが、やはり説明に聞き入ってしまい作成が先生について行けず、「今のところをもう一回お願いします」という声が時々あがり、和気藹々とした雰囲気になりました。そのような研修の雰囲気を作り出す先生の人徳には感服しました。



先生の国際的に活躍されている経験談は我々通訳案内士が参考にすべき点多々あるとも思いました。



後半は、館内の見学で折り紙の染色をしている工房に行き、和紙に様々な色模様を付けていく工程等を見学しました。また、売店では多くの参考書や土産物を販売しており、そちらでも先生が折り紙の実演をしてくださり、その手裁きの良さに魅了されました。

参加者からは「折り紙を楽しく、どこでも折れるようにしたい」との感想も聞かれました。

研修の後は、蝉時雨の中、希望者17名で森副会長の案内で神田明神・湯島聖堂を見学しました。

（第一支部運営委員）